



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スクロール

コード番号 8005 URL http://www.scroll.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 堀田 守

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営統括部長 (氏名) 杉本 泰宣 TEL 053-464-1114

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 15,531 | 1.3 | 674 | △22.4 | 718 | △19.7 | 440 | △37.9 |
| 29年3月期第1四半期 | 15,330 | △9.2 | 869 | △14.9 | 895 | △14.2 | 709 | △18.0 |

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 531百万円 (△1.4%) 29年3月期第1四半期 539百万円 (△42.1%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期第1四半期 | 12.95 | - |
| 29年3月期第1四半期 | 21.07 | 21.01 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 30年3月期第1四半期 | 39,070 | 22,849 | 58.3 |
| 29年3月期 | 37,962 | 22,495 | 59.1 |

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 22,786百万円 29年3月期 22,434百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 29年3月期 | - | 5.00 | - | 5.00 | 10.00 |
| 30年3月期 | - | - | - | - | - |
| 30年3月期(予想) | - | 5.00 | - | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-------|-------|-------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 30,000 | 3.7 | 850 | △14.5 | 900 | △13.5 | 600 | △17.7 | 17.63 |
| 通期 | 60,000 | 1.9 | 1,700 | 36.8 | 1,800 | 33.3 | 1,200 | 78.5 | 35.27 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|-------------|----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 30年3月期1Q | 34,320,650株 | 29年3月期 | 34,320,650株 |
| ② 期末自己株式数 | 30年3月期1Q | 295,347株 | 29年3月期 | 295,293株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 30年3月期1Q | 34,025,307株 | 29年3月期1Q | 33,673,854株 |

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、平成29年7月28日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いているものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動への影響もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。小売業界におきましては、消費者価値観の多様化によるコト消費の拡大は進む一方で、消費支出が長期にわたり前年同月を下回るなど、お客様の選別の目は一層厳しくなっております。

このような事業環境のなか、当社グループは、事業ポートフォリオと収益基盤の確立に重点を置いた中期経営計画「みらい2018」の2年目にあたり、通販事業、eコマース事業、化粧品事業及びソリューション事業の各事業をしっかりと稼げる安定収益事業へ成長させるべく、目標達成に向けグループ一丸となって取り組んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高15,531百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。利益面におきましては、営業利益674百万円（同22.4%減）、経常利益718百万円（同19.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益440百万円（同37.9%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

当社は、中期経営計画「みらい2018」の完遂を目指すなかで「総合通販」から「複合通販」へ変革を遂げております。今後、複合通販のさらなる進化を目指し、当社グループの事業分野、収益構造を明確にするため、セグメント区分を変更いたします。これに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント変更をしております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」をご参照ください。

なお、セグメント別の売上高は連結相殺消去後の数値を、セグメント利益は、連結相殺消去前の数値を記載しております。

① 通販事業

通販事業におきましては、働く女性向け商材の媒体を新たに発行して好評を得る一方、掲載する商品数やページ数を見直しカタログ配布の効率化を行うなど、組合員のニーズへの対応強化と収益力向上に努めてまいりました。また、戦略商品を多柄・多色・多サイズで展開させるなど商品企画に注力してまいりました。

以上の結果、売上高は9,399百万円（前年同四半期比3.2%減）となり、セグメント利益は559百万円（同16.9%増）となりました。

② eコマース事業

eコマース事業におきましては、外部モールを中心として店舗間競争がより一層激化している状況のなか、ナショナルブランド化粧品等のECサイトにおいては、新たな海外仕入ルートの開拓を行うなど商品力の強化に努めてまいりました。ブランドバッグ等のECサイトにおいては、外部モールイベントへの対応強化による受注拡大を図るとともに、LINEを活用した積極的な集客により、オフィシャルサイトの拡大に向けた施策を実施いたしました。また、依然として増加している海外需要への積極的な対応を行い、受注拡大に向け取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は2,970百万円（同8.9%増）となり、セグメント利益は21百万円（同51.2%減）となりました。

③ 化粧品事業

化粧品事業におきましては、プライベートブランド化粧品において、中国での販路開拓として大手チェーンで販売するための取組みを強化するなど、海外展開に積極的に取り組んでまいりました。また、国内においても訪日顧客向けの独自ルート開拓を実施し、主力商品である『豆乳よーぐるとばっく玉の輿』の累計販売個数は600万個を突破いたしました。このほか、オーガニックコスメブランドを展開する株式会社T&Mを買収し、化粧品事業の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は788百万円（同6.6%増）となり、セグメント利益は78百万円（同72.2%減）となりました。

④ ソリューション事業

ソリューション事業におきましては、ECソリューション部門を立ち上げ、通販システムパッケージ「eシェルパモール」の販売促進に取り組んでまいりました。セミナーや展示会での積極的な販売促進活動により、順調に成約へつながっております。また、新規顧客の獲得による物流代行業の受注拡大やBCP対策の要望に応えるため、物流拠点の整備を進めております。

以上の結果、売上高は2,245百万円（同12.5%増）となり、セグメント利益は96百万円（同1.9%減）となりました。

⑤ その他

その他事業におきましては、不動産賃貸事業において、自社保有物流施設等の不動産賃貸を行っております。また、保険事業においては、引き続き、全国で開催しているマネーセミナーを起点とした共同募集の拡大に努めてまいりました。

以上の結果、売上高は127百万円（同20.1%減）となり、セグメント利益は42百万円（同46.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は39,070百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,107百万円増加いたしました。これは主に売掛金の増加によるものであります。

(負債)

負債は16,220百万円となり、前連結会計年度末に比べ753百万円増加いたしました。これは主に未払金の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は22,849百万円となり、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、自己資本比率は58.3%（前連結会計年度末は59.1%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年4月28日の「平成29年3月期決算短信」で公表いたしました平成30年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 4,833 | 3,834 |
| 売掛金 | 9,216 | 10,686 |
| たな卸資産 | 6,472 | 6,632 |
| その他 | 3,155 | 2,749 |
| 貸倒引当金 | △289 | △284 |
| 流動資産合計 | 23,388 | 23,618 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 4,638 | 4,576 |
| 土地 | 4,614 | 4,614 |
| その他(純額) | 1,117 | 1,100 |
| 有形固定資産合計 | 10,370 | 10,290 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 1,016 | 1,911 |
| その他 | 916 | 880 |
| 無形固定資産合計 | 1,932 | 2,791 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 2,476 | 2,591 |
| 貸倒引当金 | △206 | △221 |
| 投資その他の資産合計 | 2,270 | 2,369 |
| 固定資産合計 | 14,574 | 15,451 |
| 資産合計 | 37,962 | 39,070 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,052 | 2,208 |
| 短期借入金 | 75 | 50 |
| 未払金 | 8,847 | 9,556 |
| 未払法人税等 | 190 | 199 |
| 引当金 | 216 | 107 |
| その他 | 959 | 850 |
| 流動負債合計 | 12,342 | 12,972 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,000 | 2,000 |
| 引当金 | 114 | 100 |
| 退職給付に係る負債 | 933 | 957 |
| その他 | 76 | 189 |
| 固定負債合計 | 3,124 | 3,248 |
| 負債合計 | 15,467 | 16,220 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (平成29年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,812 | 5,812 |
| 資本剰余金 | 6,742 | 6,742 |
| 利益剰余金 | 9,396 | 9,666 |
| 自己株式 | △166 | △166 |
| 株主資本合計 | 21,783 | 22,054 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 562 | 675 |
| 繰延ヘッジ損益 | 73 | 42 |
| 為替換算調整勘定 | 14 | 13 |
| その他の包括利益累計額合計 | 650 | 732 |
| 非支配株主持分 | 61 | 62 |
| 純資産合計 | 22,495 | 22,849 |
| 負債純資産合計 | 37,962 | 39,070 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日) |
|------------------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 売上高 | 15,330 | 15,531 |
| 売上原価 | 9,158 | 9,651 |
| 売上総利益 | 6,171 | 5,879 |
| 販売費及び一般管理費 | 5,302 | 5,205 |
| 営業利益 | 869 | 674 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 3 | 2 |
| 受取配当金 | 19 | 20 |
| 利息返還損失引当金戻入額 | — | 12 |
| その他 | 9 | 15 |
| 営業外収益合計 | 32 | 51 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 3 | 3 |
| その他 | 2 | 4 |
| 営業外費用合計 | 6 | 7 |
| 経常利益 | 895 | 718 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 4 | 5 |
| 投資有価証券評価損 | — | 5 |
| 特別損失合計 | 4 | 10 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 891 | 708 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 142 | 201 |
| 法人税等調整額 | 33 | 56 |
| 法人税等合計 | 176 | 258 |
| 四半期純利益 | 715 | 449 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 6 | 9 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 709 | 440 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日) |
|-----------------|-----------------------------------------------|-----------------------------------------------|
| 四半期純利益 | 715 | 449 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △82 | 113 |
| 繰延ヘッジ損益 | △91 | △30 |
| 為替換算調整勘定 | △1 | △0 |
| その他の包括利益合計 | △176 | 82 |
| 四半期包括利益 | 539 | 531 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 533 | 522 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 6 | 9 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------|-------------|-----------|-------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 通販 事業 | eコマース 事業 | 化粧品 事業 | ソリュー ション 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 9,705 | 2,729 | 739 | 1,996 | 15,171 | 159 | 15,330 | — | 15,330 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | — | — | 27 | 209 | 237 | 79 | 316 | △316 | — |
| 計 | 9,705 | 2,729 | 766 | 2,206 | 15,408 | 238 | 15,646 | △316 | 15,330 |
| セグメント利益 | 478 | 44 | 283 | 98 | 905 | 29 | 934 | △38 | 895 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び保険事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、未実現利益△7百万円、セグメント間取引消去△31百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|---------------------------|----------|-------------|-----------|-------------------|--------|--------------|--------|--------------|--------------------------------|
| | 通販 事業 | eコマース 事業 | 健粧品 事業 | ソリュー ション 事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | | |
| 外部顧客への 売上高 | 9,399 | 2,970 | 788 | 2,245 | 15,404 | 127 | 15,531 | — | 15,531 |
| セグメント間 の内部売上高 又は振替高 | 12 | 0 | 109 | 323 | 444 | 119 | 564 | △564 | — |
| 計 | 9,411 | 2,971 | 897 | 2,568 | 15,849 | 247 | 16,096 | △564 | 15,531 |
| セグメント利益 | 559 | 21 | 78 | 96 | 756 | 42 | 799 | △80 | 718 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業及び保険事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額には、未実現利益△50百万円、セグメント間取引消去△30百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、中期経営計画「みらい2018」の完遂を目指すなかで「総合通販」から「複合通販」へ変革を遂げております。今後、複合通販のさらなる進化を目指し、当社グループの事業分野、収益構造を明確にするため、セグメント区分を変更いたします。これに伴い、従来、「通販アパレル事業」、「通販インナー事業」、「通販LF事業」、「通販H&B事業」及び「ソリューション事業」の5つの区分としていた報告セグメントを、当第1四半期連結会計期間より、「通販事業」、「eコマース事業」、「健粧品事業」及び「ソリューション事業」の4つの区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「健粧品事業」において、当第1四半期連結会計期間に株式会社T&Mの全株式を取得し、当社の連結子会社となったことから、のれん963百万円を計上いたしました。